

ほほえみ

法人経営理念

『地域、利用者と共に職員自らによる
福祉価値の創造と
永続的な幸福生活の追求』

施設理念

『私たちは、利用される一人ひとりと
手をつなぎ、心をあわせ、
だれもが自分らしさを大切にできる
ことを原点とします。』



さくまの里ではご利用者の制作された作品が所々に掲示され、施設内を明るく彩ります。
レクリエーションは手や指の運動の一環として行われています。心とむ作品を楽しみに
しています。

2022年度 事業計画

地域、ご利用者への更なるサービス向上を目指して2022年度事業計画を以下の通り策定致しました。達成に向けて着実に取り組んでまいります。

〈顧客の視点〉

1. 地域、利用者ニーズに柔軟に対応することができる。

(ア) 各サービスにおける科学的介護の取り組みを確実に推進しサービスの質の向上を図る

- ①利用者データを科学的介護情報システム(LIFE)に提出しフィードバックを受け、ケアプランに反映させ、各サービスごとにケアの向上を図る。
- ②利用者が日々の生活の中で、生きがいや安心感の持てるサービスを提供する。
- ③高齢者生活福祉センター(定員19名)の有効利用の継続的促進。

(イ) 地域社会及び地域における社会資源とのネットワークを強化する

- ①在宅生活高齢者等のニーズに柔軟に対応し、あわせて地域公益活動の継続実施。
- ②利用者等の情報共有システム「シズケア*かけはし」を活用し、利用者サービス向上のためのスキルアップを図る。
- ③地域における各種団体の協議会等に積極的に参加し、情報の共有を図る。

〈業務プロセスの視点〉

2. 地域資源との連携を深め、開かれた施設サービスが提供できる。

(ア) 危機管理体制の強化

- ①既存のBCPの見直しを行うとともに、感染症対策に対応したBCPを完成させる。
- ②リスクマネジメントをはじめ、コンプライアンス並びに身体拘束・虐待など危機管理の観点から職員教育を確実に実施する。
- ③防災等のリスク管理及び利用者にとって快適な生活支援の観点から、施設設備等の必要な修繕を計画的に実施する。

(イ) 各サービスにおける新規利用の推進と延べ利用者数の向上を図る

- ①具体的かつ分かりやすい広報誌の内容と質の向上
- ②ホームページの機能強化(SNSなどの有効活用による情報発信)

(ウ) 特養待機者数の正確な把握と新規入居申込者の確保を図る

- ①地域内外の関係機関への広報(入居に特化したPRなど)を強化し新規入居申込者の確保を図る。

〈職員の学習と成長の視点〉

3. 全職員が専門性、組織性、人間性を高め、自分らしく能力が発揮できる。

(ア) 資格取得の支援体制の強化専門的知識の向上

- ①介護福祉士、介護支援専門員資格取得の支援及び認知症専門研修の受講推進
- ②資格取得にかかる財政的支援制度化の決定

(イ) 介護現場でのデジタルトランスフォーメーションを図る

- ①ICTやAI、介護ロボットなどのテクノロジーを活用し、業務の効率化や職員の負担軽減に繋げる。

(ウ) 職員の満足度を高める働き方の工夫改善

- ①日常の仕事の中で職員自らが考え行動できるための教育的支援
- ②功労表彰制度の積極的活用

〈財務の視点〉

4. 最適事業規模による持続可能な安定した経営基盤が確立できる。

(ア) 労働生産性の向上

- ①給与換算職員一人当たりサービス活動収益前年度比5%以上の向上
- ②在宅サービスにおける給与換算職員一人当たり利用者延件数前年度比1%以上の向上
- ③サービスのレベルアップと同時に経営改善の観点から2つ以上の新たな加算の算定取得

(イ) 法人経常増減差額率の向上

- ①法人経常増減差額率6.8%以上

(ウ) 長期的資源に見合う事業規模の検討

- ①将来を見据えた持続可能な事業区分ごとの体制を創出
- ②職員離職率5%以下

🍰 好きなスイーツはどれですか？ 🍰



以前は喫茶店や売店などの楽しみがありましたが、最近はコロナウイルスの影響で様々な楽しみが制限されています。

そのような中、入居では利用者を楽しんでもらうために月に1回色々なスイーツの販売をしています。専用のワゴンでお席の近くまで行くと「何を食べようか？」と皆さん嬉しそう。やっぱりスイーツは皆さんを笑顔にしますよね！



デイサービス・ショートステイの送迎車両をご紹介します

「足が悪くて車の乗り降りが大変」

「車椅子を使っているけど送迎してもらえるの？」

サービスの利用を考えたいけどこんなご心配はありませんか？



助手席の座面が回転して、乗り込みやすくなっています。



大型車は車椅子が最大4台まで乗車できます。

様々な車両を使用し、安心、安全にお越しいただけるよう努めています。皆様のご利用をお待ちしています。

介護現場のお仕事紹介

施設の中には介護員だけではなく様々な職種の方がいます。今日は里で働く職員をご紹介します。

看護師のとある一日

- 8:30～ 出勤
各フロアの申し送り確認
ご利用者の検温、処置
体調等状態の記録記入
- 12:30～ 休憩
- 13:30～ 看護課内でのカンファレンス
申し送り
- 14:00～ 翌日分の薬の準備
入浴した利用者の処置
- 15:00～ 回診の準備、対応、
ご利用者への付き添い
- 17:00～ 食事介助
- 17:30～ 申し送り
退勤



看護師
原田 恵美

Q

仕事をしていく上で
心掛けていることは？

A

利用者の方が安心して生活できるように、検温など測定することでの健康状態の確認に加えて、目で見ると同時に手で触れる、声をかけることなどで日々の変化を感じ取れるようにしています。

以前は病院での勤務をしていたため、介護の現場は初心者であり、介護の専門職の方たちと仕事をすることで、自分では気づかない部分への気付きをもらっていると感じています。コミュニケーションを取ることで教えてもらっていると感じています。

チームとして連携を取って「仕事をスムーズに」「安全に」を心掛けています。

Q

これからやっていきたいことは？

A

現在コロナ禍で外出できる機会が少なくなっているので、そんな中でも四季を感じられる生活をできるようにしていきたいです。

若手の介護員も
活躍しています。



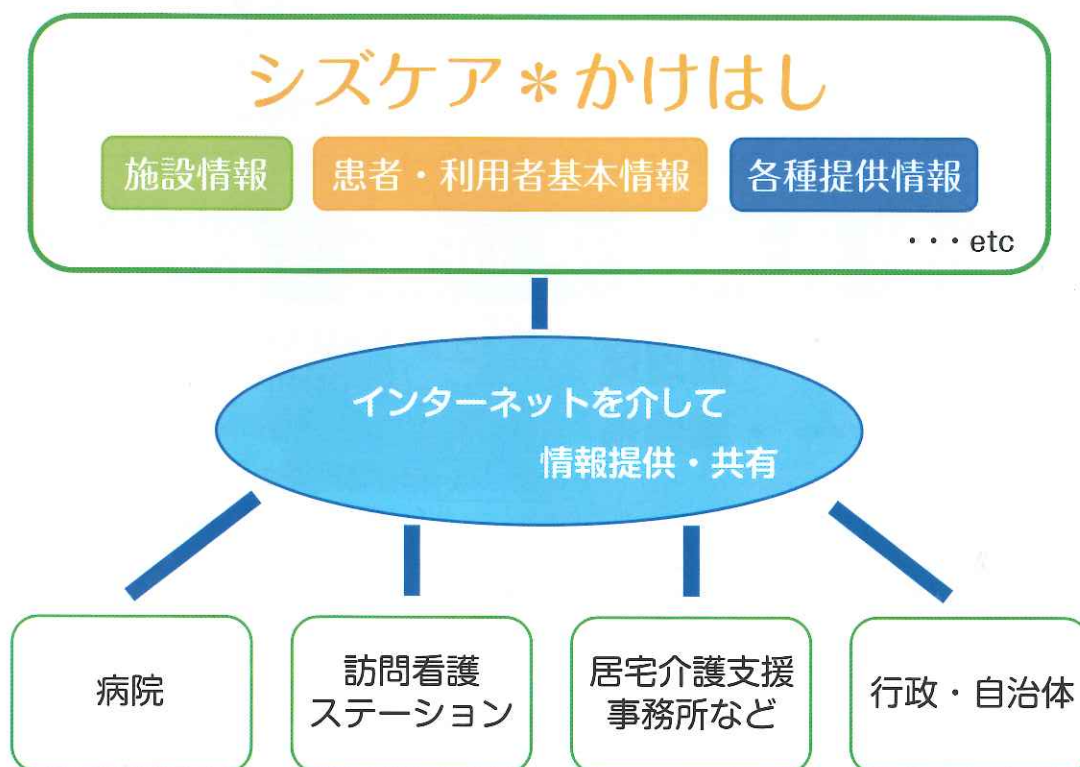
介護員
西田 聖也

学んだことや経験したことが職場以外でも役立つことがあり、介護の仕事をしてきてよかったと感じます。

一人ひとりにどう過ごしていただくか、利用者それぞれの性格や趣味、出来ること、出来ないことを知り、その人らしく暮らしていけるよう関わりを持つことが今の課題です。先輩方に助けてもらいながら日々がんばります。

— より良い在宅生活への支援を目指して —

在宅医療・介護連携情報システムの「シズケア*かけはし」の利用を開始しました。静岡県医師会が運用しています。医療や介護の専門職が在宅療養患者の情報をリアルタイムで共有できるツールです。佐久間病院と連携し、まずは佐久間病院に主治医がいる在宅利用者から登録を始めています。地域支援を行うさくまの里でもシステムの利用に慣れ、佐久間病院や行政、訪問看護ステーションとのスムーズな連携が図れる様努めていきます。



身体拘束廃止、虐待防止への取り組み

施設では介護中の身体拘束、虐待を防止するために委員会を設置し毎月事例の検討や研修の実施、情報共有を行っています。

「ダメ!」「まって」言葉がけ一つとっても不快に感じることもあります。皆さんに気持ちよく利用していただけるよう、目に見えないサービスの向上にも努めていきます。



2021年4月1日～2022年3月31日までの身体拘束等件数：0件

2021年4月1日～2022年3月31日までの虐待報告件数：0件

さくまの里 稼働状況 (2月)

サービス	定員	利用者数
特別養護老人ホーム (入居)	44名	43.0名入所 (月末時点)
短期入所生活介護 (ショートステイ)	20名	20.3名 (1日平均) ※入居空床利用有
通所介護 (デイサービス)	一般型	25名/日 12.7名 (1日平均)
	認知症対応型	8名/日 2.6名 (1日平均)
訪問介護 (ホームヘルプサービス)	—	8.5名 (1日平均)
高齢者福祉センター (生活支援ハウス)	19名	5.0名入所 (月末時点)
小規模多機能型居宅介護	登録定員 29名	23.0名 (月末登録者数)

特養入所はお申し込みからご入居まで最短2か月。随時お申し込み受付中。

職員募集中 (正規・パート)

お気軽に
お問い合わせ
ください

- ・介護職員
- ・調理員
- ・ケアマネジャー
- ・事務員

給与 人事院勧告準拠 年1回定昇有り
(パート時給 913円～1,300円)

賞与 2回 (2020年度実績4.45ヶ月)

研修 研修体制充実
(一般職員研修、管理者研修、
専門研修、勉強会 (各種))

福利厚生 聖隷健保組合加入
聖隷互助会制度充実
(医療費、分娩費、映画館チケット代補助 他)

お問い合わせ

社会福祉法人さくま さくまの里

☎053-965-1855

担当：運営サービス課 中野

苦情受付と対応

2021年度社会福祉法人さくまにおいて、公表すべき苦情はありませんでした。

社会福祉法人 さくま
「さくまの里」

- ・特別養護老人ホーム
- ・デイサービスセンター (一般型) (認知症型)
- ・高齢者生活福祉センター
- ・ホームヘルプサービスセンター
- ・在宅介護支援センター
- ・小規模多機能型居宅介護
いもほりの家

〒431-3908
静岡県浜松市天竜区佐久間町中部18-15
TEL: 053-965-1855

発行責任者 中野 幸代

編集後記
春になり、また桜の季節がやってきました。満開になるまでの桜、そして花びらが舞い散る花吹雪さくまの里にある桜を、毎年眺めながら出勤するのが、春の楽しみのひとつです。暖かい季節になってきたので、皆さんも春を見つけみてはいかがでしょうか。

ご寄付・ボランティア

ありがとうございました。
(1～3月・順不同、敬称略)

ボランティア

- 野田なかよし会

ご寄付

- 本間 秀樹
- 三井 敏郎
- 金澤 清美
- 匿名 (18名)
- 中野 芳一